



西区40年のあゆみ

40th Anniversary

since
1982



区制40周年によせて

西神の新庁舎や玉津支所での業務が始まりました。
誕生40年を迎える西区にとって
歴史的な1ページが刻まれる節目の年となります。

先日、西区広報紙(現在の「なでしこ通信」)の創刊号(昭和57年8月発行)を目にする機会がありました。紙面を見ますと、西区が垂水区から分区する経緯や将来のまちづくりの道標などが書かれており、興味深い内容となっています。当時から、寺社仏閣や史跡が多い歴史と伝統のまちであると同時に農業が非常に盛んなことが大きな特色の一つでありました。また、市域の約25%を占める広大で緑豊かな自然環境に恵まれた地域であると記されています。最後に、これから「住み」「働き」「学び」「憩う」人間生活のすべての機能を備えた新しいまちづくりに向け、様々な事業を進めながら、「新たな発展と調和を目指し、区民の皆さまと共に歩む」と結ばれています。

40年間のまちづくりを振り返りますと、重要な産業であった農業に加え、工業団地などの開発により先端産業等の集積が進み、工業が全産業のなかで占める割合も大きくなっています。また、大学や高等専門学校などの立地が進んだことも、まち全体の活性化に繋がっています。分区当時の人口は、9区の中で最も少ない約94,000人でしたが、ニュータウンの建設や区画整理事業などもあり、現在の人口は市内最多となりました。

先人の皆さまの想いや努力のおかげで、大きな変化を遂げた「緑と太陽のまち」ですが、これからも、常に時代に相応しい形に進化をしつつ、色褪せない魅力や特色は守り続けたいと思います。

西区長 志水 達也

西区40年のあゆみ



- | | | | | | |
|----|----|--------------|----|----|----------------------|
| 03 | —— | 西区の誕生 | 14 | —— | 阪神大震災 |
| 05 | —— | 西神中央の開発 | 15 | —— | みどりと太陽のまつり |
| 07 | —— | 農業公園と神戸ワイン | 17 | —— | 時代を刻む |
| 09 | —— | ユニバーシアード神戸大会 | 19 | —— | 新庁舎の完成 |
| 11 | —— | 西神南の開発 | 20 | —— | イラストで振り返る「変わり行く西神中央」 |
| 12 | —— | 市営地下鉄の延伸 | 24 | —— | 神戸ウエストン |



西区の誕生 1982

西区は昭和57年8月1日に、伊川谷町、櫛谷町、玉津町、平野町、押部谷町、神出町、岩岡町の7町をもって、垂水区から分区し誕生しました。



昭和57年8月1日 西区発足記念式典



広報紙「西区」創刊号(昭和57年8月1日発行)

創刊号

区の人口 93,984人 世帯数 24,913
面積 138.26km² (6月1日現在)
発行所 西区広報相談
〒259-0001(代)
西区玉津町小山字川端180番地の3
57. 8. 1発行(月刊)

西区

夏の青少年育成市民運動
昭和57年7月1日~8月31日
まっすぐ育て 神戸っ子
西神地区青少年問題協議会

西区誕生 昭和57年8月1日



緑と太陽のまち

西区の発足

昭和五十七年八月一日、西神地区が東区から分かれ、西区が神戸市の九宮の区として発足しました。西区の分界は、昭和二十二年、旧明石郡の伊川谷、城谷、押部谷、玉津、平野、神出、若園の七が村が神戸市と合併、垂水区に編入されて以来、三十五年ぶりのことになりました。

西区分界の経緯

昭和十六年十二月、神戸市行政区再編成協議会が、西区の分界についての答申を出しました。同協議会では、特に、①住民生活の利便の確保、②行政サービスの不均衡の是



すまよい西区のまちづくりを

この新しい西区は、神戸市城の二十五パーセントの面積を有し、人口約十万人あまり、緑と太陽に恵まれた自然環境のなかに、古い歴史と伝統をもつ旧地域と開発されたまちとが併存する地域で、いま進められています。西神ニュータウン等の開発により将来、大きな発展が期待されています。

私は、かねてから「市政は市民のためであり、市民とともに歩むべきもの」との基本理念のもとに市政を運営し、ま

正と円滑な運営、③神戸市政の発展への考慮という観点に立つた審議が行われました。

その結果、垂水区の西神地区に

域を擁しており、最近特に土地開

発が進められ、その人口増加が予想

されること、垂水区本部の人口増

長が続いている状況からみて、将来

西神地区を分界することが適当であ

る」との答申が出されたのでした。

その後、昭和五十二年二月に、西

区分区の方針が神戸市会で可決され

同年七月に、市民の方々の意見を

西区分界に十分反映してもらうた

に、西神地区の住民の方々の代表で

構成される西神地区分界協議会が

が発足しました。同協議会は、昭和

五十七年六月までに、十回の審議を

行いましたが、この理念を実現し、真の住

民自治を確立するためには、市政と市民

とを直結するパイプとなる区行政の充実

こそ大切であると考えています。

最近の西神地域では、土地開発事業

の施行、西神ニュータウンの開発など

により急速に人口が増加してきてお

り、独自の行政サービスを提供するた

西区のまち

新しく誕生した西区は、神戸市の西端に位置し、面積百十八平方キロ、西端の二十五パーセントを占める広大な区域に、九万三千人余の人々が住み、緑豊かな自然環境に恵まれました。

また、西区は、太山山、如意寺、住吉神社などの社寺公園や、吉田道跡、王塚古墳などの史跡も多く、歴史と伝統のあるまちです。

西区の産業的特色としては、なん

重ね、区の名稱、庁舎の位置、分

区に関連する事項などについて、ご

審議いただき、「西区」という区名、

庁舎位置の決定などに関し、重要な

役割を果たしていただきました。

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

新たな発展と調和をめざして

西区は、現在、「住み」、「働

き」、「学び」、「遊ぶ」人間の生活の

すべての機能を備えた新しいまちづく

りをめざして、西神住宅団地、三

神工業団地の開発、神戸研究学園都

市農業公園の整備、市営高速鉄道

西神線の延伸などの大きなプロジェ

クトが着々と進められ、西区のまち

は、大きく発展しようとしています。

このような状況にあつて、西区は

伝統文化の保存・振興、農業の振興

を図りつつ、在来のまちと、開発さ

れるまちとが調和のとれた住みよい

まちになるよう、区民のみなさまと

共に歩んでいきたいと思ひます。

伸されるなど、豊かな緑にかこ

まれた中で、住み、働き、憩い

学ぶことのできる新しい都市へ、

と大きく変りつつあります。

誕生を祝う

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。西区の誕生を祝う。

西神中央の開発

西神ニュータウンの開発は、1965(昭和40)年にニュータウン構想として具体化され、その後1972(昭和47)年に起工。西区発足の1982(昭和57)年4月が、最初の街びらきでした。

昭和47年当時の西神ニュータウン予定地



学園都市駅付近

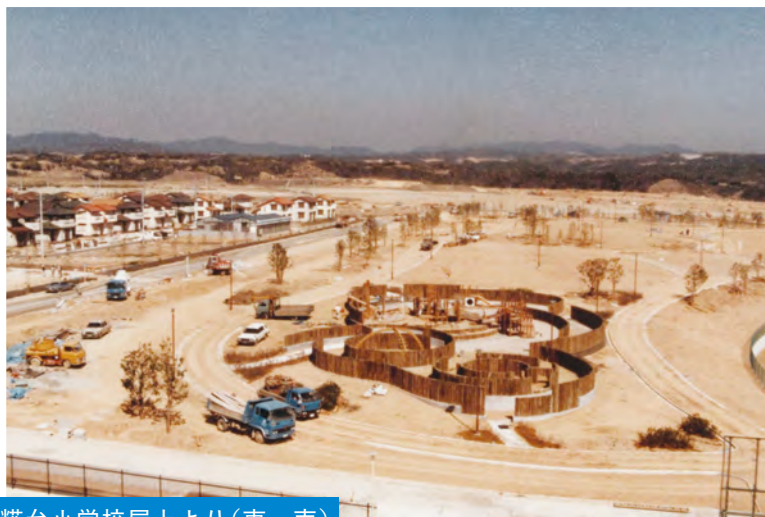
神戸高塚高校付近



昭和58年当時の全景



糀台小学校・糀台公園付近



糀台小学校屋上より(東～南)



糀台小学校屋上より(西～北)

農業公園と神戸ワイン

神戸市では、農業振興を目的に昭和54年よりブドウ栽培が始まり、昭和59年に完成した農業公園でワインの醸造が行われています。市内のブドウ畑で生産されたブドウのみを使用して製造される「神戸ワイン」は、モンドセレクションをはじめ数多くの賞に輝いています。



農業公園(昭和60年) 西区押部谷町高和1557-1



ブドウ畑で生産されるワイン用ブドウ



農業公園と周辺に広がるブドウ畑(昭和61年10月)



神戸ワイナリー 工場開所式(昭和58年7月)



ワイン城を訪れた皇太子殿下と美智子妃殿下(当時)(昭和60年)



第3回神戸ワインまつり(昭和60年)



神戸ワインの製造ライン(平成14年)

ユニバーシアード神戸大会 1985

1985年8月に、「学生のオリンピック」と呼ばれるユニバーシアード(第13回)が神戸市で開催されました。選手村は、大会終了後、「学園都市」として一大住宅地となりました。



選手村を訪れられた
皇太子殿下と
美智子妃殿下(当時)



開会式 日本選手団の入場行進

バスケット競技の熱戦
(神戸市外国語大学体育館)



選手村の日本みやげ売店で
買い物を楽しむ選手たち

選手村での1コマ



選手村に設置されたゲームコーナー

西神南の開発

西神南ニュータウンは、緑豊かな生活空間が整備され、1993(平成5)年3月に街びらきした、西区で最も新しい住宅団地です。

西神南ニュータウン街びらき合同式典(平成5年3月25日)



街びらきから
5年間営業していた
テーマパーク「アリバシティ」



街びらき初日のアリバシティには長い行列ができた



市営地下鉄の延伸

神戸市営地下鉄(西神山手線)は、昭和60年に学園都市駅まで、昭和62年に西神中央駅まで開通。
平成5年には西神南駅が開業。西神地域から神戸市の市街地をつなぐ住民の足となっています。



新神戸～学園都市
開通記念式典
(昭和60年6月18日)



建設中の西神中央駅
(昭和61年7月)



完成間近の西神中央駅
(昭和62年)

市営地下鉄の延伸



全線(新神戸～西神中央) 開通式典(昭和62年3月18日)

西神中央駅完成ポルト締結式
(昭和61年10月30日)



全線開通式典テープカット
(昭和62年3月18日)

西神南駅開駅式典(平成5年3月20日)



阪神大震災

平成7年1月17日に発生した阪神大震災では、西区は大きな被害は免れましたが、西神地区を中心に多くの仮設住宅が建設されました。



伊川谷付近の仮設住宅

西神第2仮設住宅



みどりと太陽のまつり

神戸まつりの西区のまつり「みどりと太陽のまつり」は、例年5月に開催されますが、震災以降は被災者の鎮魂の意味もこめて、夜間に開催された時期もありました。



平成9年7月



平成9年7月



平成11年7月



平成13年8月

平成24年5月



第31回 みどりと太陽のまつり

3rd KOBE MATSURI

太陽花



と き 時代を刻む

西区40年の歴史を彩った、数々のシーンをご紹介します。

プレんティの完成(平成元年11月)



プレんティの完成(平成元年11月)

西区15周年記念式典(平成9年9月6日)



西区30周年記念イベント (平成24年9月4日)



西区20周年記念式典 (平成14年7月27日)



西区30周年記念イベント (平成24年9月4日)



新庁舎の完成

区制40周年の令和4年、西区役所は西神中央の地に移転し、2月14日より業務を開始しました。役目を終えた玉津町の旧庁舎は、「玉津支所」として新たに整備されました。



こべや



おやこふらっとひろば西



玉津支所(西区玉津町小山180-3)



イラストで振り返る
変わりゆく西神中央

西区役所が移転した西神中央の時代の移り変わりを、
 西区在住のイラストレーターのもふもふ堂(よひなよしかず)さんに描いていただき、
 西区広報紙「なでしこ通信」に、6回にわたって掲載させていただきました。



絵: もふもふ堂 ©MOFUMOFUDO

Vol.1

“ **西神中央住宅団地の造成** ”

元々は丘陵地であった西神中央。住宅需要の高まりを受けて、昭和47年5月にニュータウンの建設が始まりました。これは昭和62年頃の様子です。最初に造成された糀台への入居が進む様子がみられ、左手奥にはアーチ天井が特徴の西神中央の駅舎が見えます。(令和3年6月号)

Vol.2

“ 神戸市営地下鉄の全線開通 ”



西神ニュータウンの街びらき当初、神戸市営地下鉄はまだ名谷までしか通っておらず、名谷から西神中央間はバスがピストン運転をしていました。その後、昭和60年に学園都市まで延長され、昭和62年に新神戸から西神中央まで全線開通しました。(令和3年8月号)

Vol.3

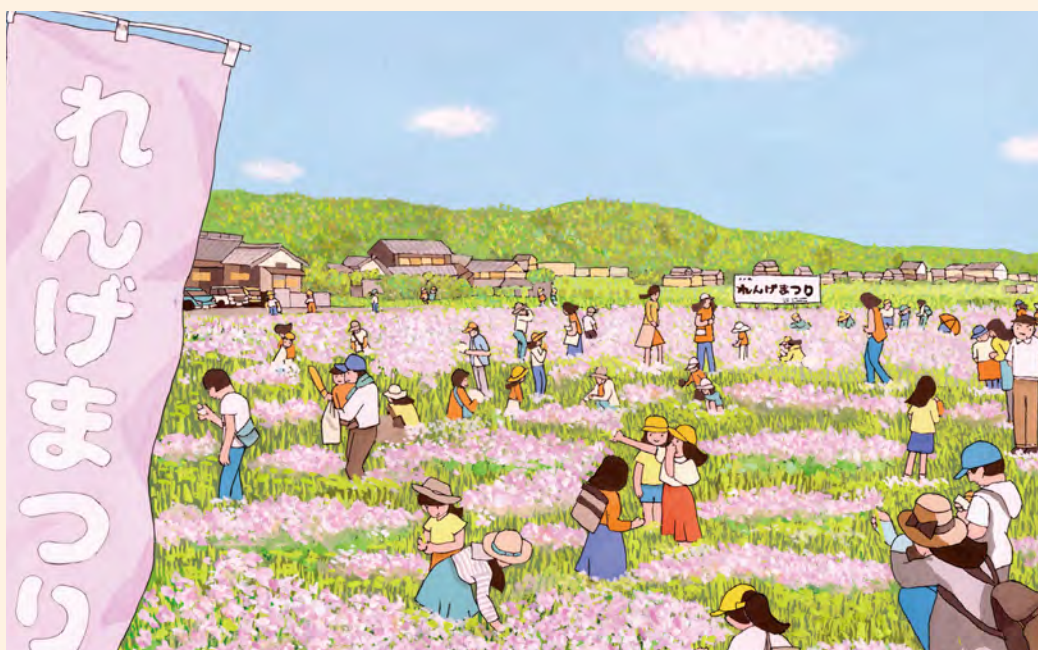
“ みどりと太陽のまつり ”



昭和58年から実施されている「みどりと太陽のまつり」、プレんティ広場には特設ステージが設けられ、ダンスや伝統芸能、各種ブースでにぎわいます。近年は区内の学生を中心に、若者のパワーで地域を盛り上げる取り組みにも力を入れています。(令和3年10月号)

Vol.4

“ れんげまつり ”



農村地域とニュータウン住民との交流、青少年健全育成をスローガンに平成12年から始まりました。新鮮な野菜の即売や模擬店の出店などが行われ、一面のれんげが咲く中、多くの方に親しまれています。(令和3年12月号)

Vol.5

“ 国際交流のタベ「なでしこの盆」 ”



6つの大学がある西区には、多くの外国人留学生が在学しています。日本の夏の風物詩の盆踊りを通して、地域の方とのふれあい、国際交流の活性化を目的、平成17年から始まりました。神戸ワイナリー（農業公園）を舞台に、にぎやかな踊りの輪が広がります。(令和4年2月号)

Vol. 6

“ 西区役所新庁舎完成 ”



昭和57年の西区発足以来、玉津町で業務を行ってきた西区役所が、令和4年2月14日に西神中央に移転しました。西神中央のリノベーションのシンボルとして、区民のみなさんに親しまれる区役所を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。(令和4年4月号)

もふもふ堂(よひなよしかず)さんの横顔



(よひなよしかず)
もふもふ堂さん

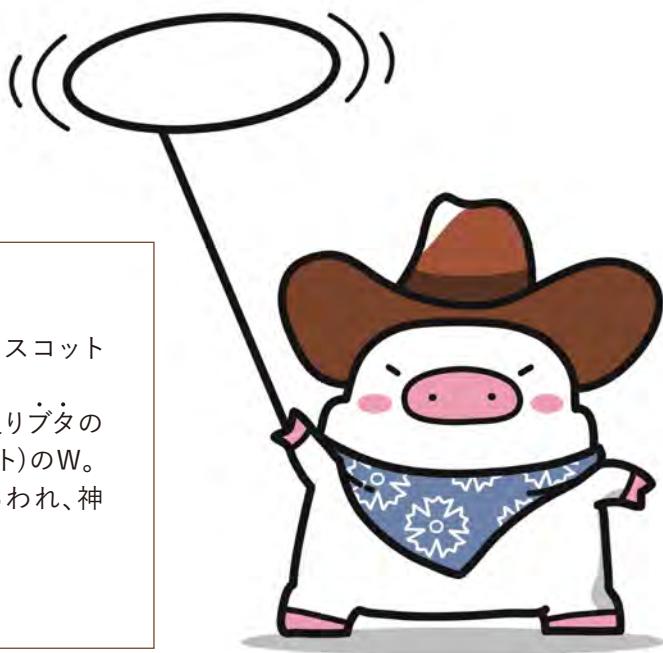
1959年神戸市生まれ。「もふもふ」には「毛布に包まれて眠るしあわせのように、見る人の心にやさしさを届けたい」という思いを込める。かつて市電が走っていた頃の神戸の光景を中心に、昭和のレトロな風景に色を乗せた作品を数多く手掛ける。神戸市西区在住。

神戸ウエストン

平成25年10月5日に、西区公式マスコット「神戸ウエストン」が誕生しました。
ウエストは「西区」にちなんだ249cm。愛らしいその姿は、区民のみなさんに広く愛されています。

神戸ウエストン KOBE-WESTON

神戸ウエストンは、平成25年10月5日に、西区のマスコットキャラクターとしてデビューしました。
神戸ウエストンは、カウボーイに憧れている、見ての通りブタの子どもです。見てください!しっぽの形がWEST(ウエスト)のW。
こちらのスカーフは、西区の花 ナデシコの花があしらわれ、神戸ウエストンの一番のお気に入りアイテムです。
そして、なんと!ウエストは249cmでニシクです。



神戸ウエストン プロフィール

性 格	猪突猛進(…豚だけど)
長 所	好奇心旺盛
好 き	西区産の果物・野菜、雌岡山からの眺め
特 技	縄まわし
苦 手	縄跳び
お気に入り アイテム	投げ縄、ブドウ色に染まったナデシコ柄のスカーフ
ウエスト	249(ニシク)cm!
ひ み つ	(足が短くてウエスタンブーツが履けない)



垂水区から

西神地区を分区し

西区とする

昭和57年8月1日

